

1 事業の成果

2018年度は、通訳・介助者の育成事業として、通訳・介助員を育成する養成研修会や、様々な盲ろう者へ対応できる通訳・介助技術を磨くための現任研修会を実施した。

生活訓練事業として、手書き文字、福祉機器の使い方、編み物、料理など、盲ろう者の希望に合わせて、習得できる訓練を実施し、盲ろう者の自立と社会参加を促進した。

盲ろう者の掘り起こし事業では、市町村を訪問し盲ろう者について説明やパンフレット配布を行った。

災害対策事業では、盲ろう者の災害対策を考える学習会として、災害対策クイズ／防災ミニ講演を行った。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
生活訓練事業	1) 盲ろう者のための生活訓練	4月～3月	県内	6名	盲ろう者延べ6名	251,831
	2) コミュニケーション技術を習得するための勉強会	月1回 年11回	千葉市	6名	盲ろう者延べ34名	0
	3) コミュニケーション技術を習得するための学習会(ユーザーサークル)	月1回 年11回	習志野市	4名	盲ろう者延べ53名	0
相談事業	1) 盲ろう者本人、家族、それらに関わる者に盲ろう者についての各種相談を行う	随時	県内	4名	訪問相談延べ16件、電話・メールでの相談多数	0
通訳・介助者の育成事業	1) 通訳・介助員養成研修会	9月～12月 22回	千葉市	6名	受講生修了者15名	1,978,179
	2) 通訳・介助員現任研修会	9月～2月 10回	千葉市	4名	通訳・介助員延べ132名 聴講6名	596,056
	3) コミュニケーション勉強会	月1回 年11回	千葉市	6名	支援者延べ122名	0
	4) 盲ろう者のコミュニケーション方法の学習会(ユーザーサークル)	月1回 年11回	習志野市	4名	支援者延べ138名	0
	5) 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者研修会への参加	10/6～10/9	東京	会員1名		3,080

通訳・介助者の派遣事業	1) 盲ろう者に対し通訳・介助員を派遣	通年	事務所	3名	30年度末登録盲ろう者35名	18,384,415
	2) 盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会【派遣コーディネーターコース】	1/10～1/12	埼玉	コーディネーター2名		9,400
社会啓発事業	1) HPで活動内容を紹介する	随時	事務所	1名	不特定多数	0
	2) 会の案内を定期的に発行する	年6回	千葉市	5名	会員、関係団体	51,980
	3) 市町村を訪問し盲ろう者について説明やパンフレット配布を行う（掘り起し事業）	4月～10月	茂原市、千葉市、市原市他	7名	茂原市役所他訪問	8,133
	4) 山形県通訳・介助員現任研修で「盲ろう者掘り起しについて」講演を行う（掘り起こし事業）	12/8	②山形県	1名	現任研修受講生	7,000
	5) パンフレットの配布活動を行う	随時	県内	6名	不特定多数	0
	6) 福祉まつり等でコミュニケーション体験とバザーを行う	10月～3月3回	佐倉市他	12名	コミ体験96名、バザーは不特定多数	2,500
交流促進事業	1) 月1回、交流会を開催	月1回 年11回	四街道市他	7名	会員及び非会員延べ289名	13,057
災害対策事業	1) 会報誌へのコラム掲載	年5回	県内	4名	会員、関係団体	0
	2) 模擬災害体験ツアー	7/29	東京都	4名	盲ろう関係者20名	11,146
	3) 盲ろう者の災害対策を考える防災学習会	3/16	千葉市	4名	盲ろう関係者24名	1,620
	4) 担当者研修	3/17	松戸市	4名	担当者5名	2,182
その他、本会の目的を達成するための事業	1) 全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修会への参加	11/3～11/4	千葉市	会員1名		18,280